

北九州ワーク・ライフ・バランス（WLB）賞受賞にあたって雑誌紹介

「ワークライフバランス：西澤洋子

日本医事新報 P55～58 No4388 (5/31 号)」

(医局書架)

最近ロハス（健康で持続性のある生活スタイル）とか、ワークシェアリング（生活と折り合いよく働く）、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉が広まってきました。

先に私共も子育てと介護支援制度の導入で、北九州ワーク・ライフ・バランス賞を頂きましたが、ここでWLBを分かり易く解説した雑誌を紹介します。

WLBとは従業員がやりがいのある仕事と充実した私生活のバランスを取りながら、個人の持っている能力を最大限発揮できるようにサポートすることであると述べられています。しかしながら、男女雇用機会均等法、ファミリー・フレンドリー、次世代育成支援、諸々の多様性を認めるダイバーシティの政策には働く仲間にとって相反する利害がひそみ、それぞれの場合に受容と寛容の精神が求められます。

働く人々の意識と自立性のもとのWLBのあり方が、例えば働く時間や場所の自由度とか、制度を上手に運用できる風土作りの重要性が簡潔に述べられています。

平成 20 年 6 月 7 日

理事長 市丸 喜一郎